



千載一遇の成田空港 「第2の開港」を生かせ



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

田代一男 議員



Q 成田空港では、2028年度末の「第2の開港」をめざし成田空港周辺9市町のエポータシティの実現に向けた取り組みを推進しているが、香取市の具体的な取り組みの内容は。

A 令和5年度に「香取市地域未来投資促進法活用可能用地選定業務委託」を実施し、物流関係の候補地の検討を行いました。また、令和6年度の「成田新産業特別促進区域基本計画」の変更により追加された

きたいとお願いをしました。

Q 香取市に來ても県立病院に産科があった時から出生数が少ないから、みずたに会が來ても少ないだろうと言う発言はあったか。

A 出生数が少ないことを前提に、開院後の経営が可能なのかという意味で確認する発言をしました。

Q クリニックとして病院よりお産しやすい環境を整えることで、出生数は少し確保できると言う話に対してどういう返事をしたのか。

A 方針や設計などから、利用者にとって非常にリラックスできて有意義な空間であるという考え方は理解していたつもりです。

Q このまま静かに時間が経てば市民は忘れるだろうからと発言され、お互いの為に静かにしていきましょうというような提案をされたと言っているが、何の提案か。

A みずたに会側が香取市で開院後の経営について大変心配している様子でしたので、今は一旦手を止めて、心配事が解消されるまで待つてみてはどうか、協定を結んだまま状況が改善するまで事業の進行を見合わせる考えもあるのではないかと思います。

看護専門学校の閉校の現状は

Q 市議会全員協議会での閉校スケジュール

では学生募集行為の中止を県に届け出とあるが現状はスケジュールどおりではない。法人からの閉校申出を承諾した後、心境の変化などあったのか。

A 3月市議会定例会で閉校の申出は法人の決断を尊重する考えである旨、答弁しました。しかし、改めて考えた結果6月定例会では、法人の意見は尊重すべきと考えますが、看護師養成機関を残せないか、香取市として法人とは違う観点から各種関係機関と検討したい考えとなり、そのような答弁をしました。

Q 何の説明もなく全員協議会で説明したスケジュールを実行しないのは問題では。

A いろいろ考えた過程の中で、そのように発言しました。

Q 産科クリニックもそうだが、議会軽視とは思わないか。

A そうならないよう様々な動きがあれば逐一報告、説明をしたいと思います。

Q 看護専門学校に必要な費用を香取市はどれだけ負担しているか。

A 香取おみがわ医療センター附属看護専門学校の運営に要する経費負担は、当初予算額ベースで令和4年度が5255万2000円、令和5年度は5355万2000円、令和6年度は5975万3000円、令和7年度は6508万7000円となっています。

したことをどのように捉えているのか。

A 要配慮者の避難支援を円滑に行うための、「個別避難計画」について、自治会や消防団、自主防災組織などの協力を得て、支援体制を進めていきます。次に、早期開設避難所について、高齢者や障がい者にも安全な避難生活が提供できる環境整備、福祉避難所拡充の取り組みを進めます。更に、各種訓練と協働体制強化、災害備蓄品の見直しと拡充を進めていきます。これらの施策等を一体的に推進し「被災者支援の充実」を具現化していきます。

富士山噴火に伴う警戒を

Q 富士山が噴火すると都市機能がマヒし、人命にも関わる。降灰が及ぼす影響について、市民への周知啓発を進めるほか、噴火後の分かりやすい情報発信も重要だと考えるが、見解は。

A 降灰から身を守るための留意事項のほか、富士山の噴火に伴う降灰への備えに特化したホームページ等の充実を図り、市民への周知、啓発に努めていきます。また、広域降灰の予測や観測等の情報が提供された際は、防災行政無線等により、屋内への避難や火山灰を吸引しないよう呼びかけるなど、適切な情報発信を行っていきます。

災害時の自宅避難者へ「福祉サービス」を

Q 災害時、避難所だけでなく自宅や車中などで過ごす人にも「福祉サービス」の提供を明記した「災害対策基本法等改正案」が成立